

信州大学農学部出前講座



った後に、フィールドに出るの实地です。

農学部の広大な敷地の中にあるグラウンドが实地研修場です。まずは、全員を6班に分けさらに3班ずつがそれぞれTSグループとGNSSグループにわかれ前半と後半で入れ替わるとい体制です。それぞれの班に社会事業部員・広報部員がつき实地研修を行いました。TSグループは予め設置した3台のTSとプリズムを使い対回測量を行いました。一方GNSSグループは予め土中に埋められた学生の学籍番号を記録したテープを8系座標を頼りに探し出すという内容です。基本的な操作を最初に教えてあとは学生達が主体でどんどんと課題をこなしていきました。2時間弱でしょうか、夏にしては割と涼しい日で体力の消耗もそれほどなく实地研修を終えました。



实地研修の後は対回測量の記簿計算を行いつつ、再び塩川副会長の解説が行われました。最後に平林広報部長が土地家屋調査士の資格について仕事についての説明を行い、広報グッズを学生の皆さんに配布して講座は終了となりました。時間が足りず駆け足な内容



でしたが測量について土地家屋調査士についてかなり知ってもらえたのではないのでしょうか？このような地道な活動を毎年行っている社会事業部の皆さんに頭が下がる思いでした。

広報部